

時の過ぎゆくままに

本調子

四 四^{#上}工尺^{#上}四尺工工 工 尺 四 四^{#上}工尺^{#上}四尺工老 工 尺

四 四^{#上}工尺^{#上}四尺工工 工 尺 四 四^{#上}工尺^{#上}四尺工老 工 あな

工工 たは 四四 尺^{#上}尺王 すつかり 四工尺^{#上}四尺尺尺王 つかれて 尺^{#上}四 しまい 四四 四 いき 合合

^{#乙}^{#乙}上尺^{#上} てる 合^{#乙}上四四上四 ことさえ 四 尺尺尺^{#上} いやだと 尺工尺工尺^{#上}尺工 ないた 工工

工工 れた 四四 尺^{#上}尺王 ぴあので 七 おもいで 尺^{#上}四 四四 四 のうた 合合

^{#乙}^{#乙}上尺^{#上} てで 合^{#乙}上四 ひい 四八七八七尺尺尺^{#上} ためいき 尺工尺尺 ついた 尺 とき 尺

工 の 合^{#乙}上尺^{#上}六六 六 すぎゆくままに 七五王七七七七 このみを 七五王 まかせ 七七七七^{#上} おと

尺尺^{#上} 尺 こと 尺王^{#上}四四^{#上}尺尺王尺尺尺^{#上} おんなが 尺工尺尺 ただよい 尺 ながら 尺 おち 尺

工 て 合^{#乙}上尺^{#上}六六 六 ゆくのも 七五王七七七七 しあわせ 七五王 だよと 七五 王^{#上} ふた

尺 り 尺^{#上} 尺王^{#上}四 つめたい 四^{#上}上四^{#乙}合 から 上 上 だあわ 尺^{#上} せ 合

四 る 四^{#上}上四^{#上}尺王尺 と 尺工^{#五}七^{#五}七^{#上} とき 四^{#上}尺王^{#上}工^{#上} き 尺

工 の 合^{#乙}上尺^{#上}六六 六 すぎゆくままに 七五王七七七七 このみを 七五王 まかせ 七七七七^{#上} おと

時の過ぎゆくままに

本調子

3/3

一、あなたはすっかりつかれてしまい
生きてることさえいやだと泣いた
こわれたピアノで 想い出の歌
片手でひいては ためいきついた

時の過ぎゆくままに この身をまかせ

男と女が ただよいながら
堕ちてゆくのも しあわせだよと
二人つめたい からだ合わせる

からだの傷なら なおせるけれど心
のいたでは いやせはしない
小指に食い込む 指輪を見つめあな
たは昔を 思っ て泣いた

時の過ぎゆくままに この身をまかせ

男と女が ただよいながら
もしも二人が 愛せるならば
窓の景色も かわってゆくだろう

時の過ぎゆくままに この身をまかせ

男と女が ただよいながら
もしも二人が 愛せるならば
窓の景色も かわってゆくだろう